

# 高田区 地域協議会だより

フレイフレー  
た・か・だ

令和5年1月25日発行  
発行：高田区地域協議会  
編集：高田区地域協議会・編集委員  
南部まちづくりセンター  
Tel. 025-522-8831 ・Fax 025-522-8832

第52号

- ▶ **活動報告** 「地域活性化の方向性」の作成……………1頁
- ▶ **活動報告** 「地域活性化の方向性」の作成に向けた学習会……………2頁
- ▶ **市の回答** 諮問事項 新市建設計画の変更について……………2頁

フムフム  
これは気になる!



## 活動報告 「地域活性化の方向性」の作成

### 「地域活性化の方向性」の作成に向けた協議を行う

第8回地域協議会（9月20日開催）以降、高田区の「地域活性化の方向性」の作成に向けて、協議を重ねています。

「地域活性化の方向性」とは、地域協議会による地域の活力向上に向けた議論を進めるに当たり、地域協議会委員間の認識の共有、地域協議会と市の認識の共有を図るとともに、市の取組の企画の参考とするため、地域において特に重視したいこと、大切にしたいことを、タイトル及び五つ程度の構成要素で簡潔にまとめるもので、市から令和4年度中の作成着手のお願いがあったものです。



▲協議の様子

協議の結果、作成に当たっては、地域の方のご意見をお聞きしながら進めていくこととし、まずは、高田区在住の市議会議員の皆さんのご意見を聞く学習会を11月下旬に開催することとしました（内容は2頁に掲載）。

#### これまでの協議で委員から出た意見（抜粋）

- ・活性化に向けてどうしたいか、高田区の強みは何かを考えていく
- ・まずは市が市全体の活性化の方向性を示すべきではないか
- ・観光等もよいが、福祉等、地域の人達が生活しやすい観点からも考えたい
- ・活性している部分もあるし、活性していない部分もあるなら、どこが活性していないので、それをどうやって活性化するかという話になると思う
- ・地域協議会委員だけでなく、地域の方の意見を聞いて作成したい
- ・活性化というとお祭り騒ぎという方向に行き、地域課題が脇に追いやられている
- ・「地域活性化の方向性」をどう生かすかを考える

## 活動報告 「地域活性化の方向性」の作成に向けた学習会

### 高田区在住の市議会議員の皆さんの意見を聞く

11月28日に高田区在住の市議会議員の皆さんをお招きして、「地域活性化の方向性」の作成に向けた地域協議会の学習会を開催しました。

学習会当日は、各市議会議員の皆さんから作成いただいた高田区の課題、高田区の活性化に関するご意見の要旨を説明いただいた後、質疑応答や意見交換を行いました。

市議会議員の皆さんからは、「キーワードは“地域の持続性を高めること”」「地域活動や地域でのつながりによる“社会的活性化”の視点」「具体的提案として高田城柵形門の復元等」「地域独自の予算は一つの希望になるのではないかと。ただ、地域計画が必要」「上越市・上越地域の都市機能の集約地としての高田」など、市・高田区の発展、課題解決のために活動されている立場から様々なご意見をいただき、今後の話し合いの参考とさせていただきます。



▲学習会の様子

## 市の回答 諮問事項 新市建設計画の変更について

### 諮問どおり計画を変更する手続を進める等の回答

第8回地域協議会（9月20日開催）で審議した表題の諮問事項については、「支障なし」と判断するとともに、新市建設計画で見込まれている上越地域医療センター病院の改築が、コロナ禍の影響等により遅れている中、現在地での早期の着工・完成となるようお願いする旨の附帯意見をつけ、10月14日付けで市へ答申しました。

第10回地域協議会（11月21日開催）で市からの回答が報告されました。

#### 市の回答

新市建設計画を変更する手続を進めることとします。今後、パブリックコメント、県との法定の協議を経て、令和5年上越市議会3月定例会に議案を提出する予定です。

#### 【附帯意見への回答】

上越地域医療センター病院の改築については、令和2年3月に「上越地域医療センター病院基本計画」を策定したところ、改築後の収支悪化が見込まれたことから、基本計画の次のステップである基本設計には着手せず、持続的・安定的な病院運営を見通すため、令和2年度以降、収支改善に向け各種の取組を鋭意推進してきたものの、現状は道半ばとの認識です。

また、上越地域医療構想調整会議における上越地域全体の今後の医療提供体制の議論についても、上越地域医療センター病院が担うべき役割と、施設整備に大きく関わる、上越地域医療センター病院に受入れが求められる症例や患者数の議論に十分な進捗が見られず、その結果を収支シミュレーションに反映する段階に至っていません。

このような状況下にあることから、今後の具体的なスケジュールについては、収支改善の取組及び上越地域医療構想調整会議の議論の進捗を図った上で示したいと考えていますが、設備の老朽化は著しく改築を急ぐ必要があるとの認識に変わりはありませんので、現在地での改築に向けて可能な限り早期の基本設計着手を目指してまいります。